

あかしの農産物加工交流ひろば

「えべや」の催し

料理教室「フライパンピザ」  
 ①9月6日(水)・9月17日(日)  
 午前10時～正午  
 ②えべや 講えべやスタッフ  
 ③1500円 ④10人(先着順)  
 ⑤8月29日(火)から「えべや」へ電話で(TEL88・6275 受付は月曜日を除く午前10時から正午。キャンセルは2日前まで)  
 ⑥子ども同伴での参加も可  
 ⑦問農政課  
 TEL71・2430



農業女子向け体験講座  
 安曇野の夏秋いちごを知る会

夏秋いちごのハウスの見学後、安曇野産の農産物を使ったランチを食べながら同年代の農家と交流します。  
 ①10月6日(金)午前9時～午後1時ごろ  
 ②おむね40代までの女性農業者  
 ③山田太一さん(なないろ農園)  
 ④三森雄太さん(パーラーつばめ)  
 ⑤1000円 ⑥10人(抽選)  
 ⑦8月31日(木)までにながの電子申請サービスまたはメールで。詳細はHPをご確認ください。  
 ⑧問安曇野市農業再生協議会  
 TEL71・2430



収益アップのための農業塾

少量多品目栽培のノウハウを学びます。  
 ①10月4日、②10月18日、③11月8日、④12月6日、⑤12月20日  
 水曜日 午後2時～4時  
 ⑥場市役所3階会議室  
 ⑦①世界や日本の野菜・果物の歴史・食の変遷②野菜ソムリエから見た食とは③野菜・果物(品目)特徴・見分け④多品目生産のメリットと販路開拓・農産加工⑤野菜・果物の特徴を活かしたワークショップ  
 ⑧全5回参加できる農業者  
 ⑨講中村敏樹さん(有コスモファーム)  
 ⑩無料 ⑪20人程度(先着順)  
 ⑫9月15日(金)までに電話で  
 ⑬問農政課  
 TEL71・2427



オンラインモデル日本語教室

日常生活をするうえで役立つ日本語をオンライン(Zoom)で学びます。  
 ①9月28日～2月22日(全15回)  
 ②毎週木曜日、午後7時～8時30分  
 ③無料 ④20人(先着順)  
 ⑤9月7日(木)までにながの電子申請サービスから。詳細はHPをご確認ください。  
 ⑥問生涯学習課  
 TEL71・2466



豊科高等学校開放講座

打って、投げて!! ボールで遊ぼう!  
 柔らかいボールを打ったり、投げたりして遊びます。  
 ①10月2日(月)、11月6日(月)  
 ②午後5時～6時(雨天中止)  
 ③豊科高校北グラウンド  
 ④対未就学児小学生 講関島浩浩さん  
 ⑤無料 ⑥10人(先着順)  
 ⑦9月15日(金)から講師へ電話(TEL090・1503・3932)または電子メール(mskjm.18@gmail.com)で  
 ⑧問生涯学習課  
 TEL71・2466



介護予防・日常生活支援総合事業  
 サービスA従事者研修参加者

介護予防・日常生活支援総合事業のうち、サービスA(緩和した基準によるサービス)従事者研修の参加者を募集します。

①▽1日目・10月11日(水) 午前9時15分～午後4時30分  
 ②▽2日目・10月12日(木) 午前9時15分～午後0時15分  
 ③場豊科交流学習センター「きぼう」学習室1  
 ④対介護福祉士、介護職員従事者研修等修了者でない人で、サービスAへの従事を予定している人または関心のある人  
 ⑤※従事には2日間の研修と、実務経験のある有資格者同伴の現地実習(360分)が必要です。  
 ⑥無料 ⑦各15人(抽選)  
 ⑧9月27日(水)までに申込書を高齢者介護課へ直接または市HPのながの電子申請サービスから。申込書は同課窓口・市HPから入手できます。  
 ⑨問高齢者介護課  
 TEL71・2474



広報あづみのをスマホで

無料アプリ「マチイロ」でも簡単に広報紙が読めます。市HPの新着情報も一目でわかります。ダウンロードは下記2次元コードから。



問秘書広報課  
 TEL71-2424

広報あづみの朗読版

広報あづみのは音声データでもお楽しみいただけます。市HPに広報あづみの朗読版として公開していますのでご利用ください。



問秘書広報課  
 TEL71-2424

一般介護予防教室参加者の募集

下表のとおり介護予防教室を開催します。

教室名	日時	場所	内容	対象	費用	定員	申し込み
お口いきいきアップ教室(明科教室)	9月20日～11月22日 水曜日・全6回 10:00～11:30	明科総合福祉センターあいらず	口の機能低下の改善方法など、口の健康について学ぶ教室。 今後、豊科、穂高、堀金で開催予定。	おむね65歳以上の人		各10人(先着順)	
フィットネスバイク教室 運動強度 中程度	9月26日～12月26日 火曜日・全12回 13:30～	ANCアリーナ	室内でフィットネスバイク(自転車型運動器具)を使用しながら、身体機能の維持・向上を図る教室。	おむね65歳以上の人(関節疾患のある人は要相談。医師から運動制限の指示がある人は不可)	無料	15人(抽選)	8月29日(火)から9月1日(金)に電話で

問高齢者介護課  
 TEL71・2474



ANCアリーナ

共通事項 対高校生以上 ①ANCアリーナへ電話(TEL73-1600)で  
 ②持動きやすい服装、運動用シューズ、飲み物、タオル

かんたん痩せるエクササイズ

①毎週火曜日14:00～15:00  
 ②場スタジオ  
 ③講栗澤穂乃花さん(MFPマットピラティスインストラクター)  
 ④費1000円 ⑤定16人(先着順)  
 ⑥持上記に加え、ヨガマット

ほぐしピラティス

①毎週金曜日11:00～12:00  
 ②場会議室  
 ③講栗澤穂乃花さん(MFPマットピラティスインストラクター)  
 ④費2000円 ⑤定5人(先着順)  
 ⑥持上記に加え、ヨガマット

バレトン教室

①毎週木曜日14:00～15:00  
 ②場スタジオ  
 ③講太田美帆さん(株式会社ZERO)  
 ④費1000円 ⑤定20人(先着順)

第6回

小説『安曇野』の登場人物を知ろう!



きのした あきひろ  
 木下 尚江  
 (提供:松本市歴史の里)

「安曇野」の作者、白井吉見は第一部のあとがきで「主要人物は、木下尚江を中心に、中村屋夫妻、荻原守衛、研成義塾の井口喜源治の五人である」と述べています。「中心」とあるとおり、尚江は幾度となく小説に登場。その尚江の生涯は68歳で閉じますが、37歳までの前半生と、それ以降の後半生とに大きく分かれます。

松本市出身の尚江は、東京専門学校(現・早稲田大学)を卒業後、地元で新聞記者や弁護士として活躍。

邂逅と対話の安曇野紀行  
 「木下尚江ゆかりの場所」

北深志天白町に、下級士族の長男として生まれた尚江は、奨励社の準備会が開智学校で開かれたとき、その五年生であった。  
 (小説『安曇野』第一部 その六より引用)

木下尚江が生まれた松本市北深志には「木下尚江出生の地」の看板、「松本市歴史の里」(松本市島立)では移築復元された尚江の生家を見ることが出来ます。安曇野市内で尚江ゆかりの場所を探すことは難しいですが、安曇野市も望める松本市城山には木下尚江顕彰碑(写真参照)があります。碑には尚江の辞世の句「何一つもたて行くこそ故さとの無為の国へのみやげなるらし」が彫られています。



その後、東京で毎日新聞の記者となり、足尾銅山鉱毒事件問題や普通選挙運動に取り組みました。幸徳秋水らと、日本最初の社会主義政党である社会民主党を結成。1904年に始まった日露戦争では非戦運動を展開しました。  
 しかし、1906年に最愛の母を亡くした絶望から毎日新聞を退社し、社会主義運動からも退くようになります。心の安定を求めて岡田虎二郎の岡田式静坐法入門。当時、荻原守衛が突然亡くなり、息子も亡くして失意にあった相馬良(黒光)に岡田式静坐法を紹介するなど、中村屋や相馬夫妻との交流は続きました。